

(様式第13号)

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

派遣通知（団体）No.		派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前	13-035	19-001	18-004
			阿波 雅士	石井 大輔	金山 佳子
派遣先（名称）	NPO法人高齢者・障がい者後見人の会				
派遣計画書の内容	初回ヒアリング		令和6年5月30日		3回次 事業の進め方。地域に根差した運動。より具体的に啓蒙していく。
	1 回次	事業目的を明確にし言語化する。例「明るい・安心者後=生前活!」法的支援+相談会セミナーの展開	4回次		広報物に落とし込み、より具体的にポイントを絞り込む。
	2 回次	私たちの決めポイント・メッセージは何か? 1 回目のブラッシュアップ。誰にどんなことを伝える? 役割分担など。	5回次		財源確保の課題について
派遣回次	第2回本派遣		派遣日時	令和6年7月30日 13:30~16:30	
参加者	地域 1名	人材事務局 3名	区役所 1名	まちセン 名	その他 ( 名 )
活動内容	<p>●派遣依頼内容 第1回派遣で行ったヒアリング内容を、整理して、どこを目指していくのかを確認する内容だった。事業を始める原点確認、どんな実績があるのか、どんなことをしていきたいのかなど、具体的に事業展開するために必要な項目に分けて、聞き出すということができる派遣内容だった。</p> <p>●支援内容・プログラム 団体のBさんのライフワークとしてやり遂げたいことと、NPO法人としてやっていきたいことを分けるための整理ができるヒアリング及びディスカッションを行った。</p> <p>●成果 団体から「とても整理されました」という言葉をいただいた通り、個人のライフワークとして取り組むことと法人として、今後の人たちに任せていけるようにするために、どのような事業を展開するのかを分けて検討してもらえる土台ができた。 さらに、今後法人活動をするためには、後継者に何を伝えていけるようにするかという観点から、団体の自覚が変わったことも成果と言える派遣だった。これからが本格的な法人活動について掘り下げていけるようになった。</p> <p>●今後の予定 NPO法人として、誰を対象に、どんなサービスを展開していくのかを確認して、それらをいかに広報物に反映していくのかにつなげるようにしたいところです。</p>				
所感	登録no.	名前	所感		
			団体の想いを確認できる機会になりました。次回からは、NPO法人として、いかに取り組むことになるかをヒアリングできる土台ができました。人材のAさんが常に軸をもって、進めてくれるという展開で、団体からは、頭の整理をはじめ、事業として展開していくことに集中できる今回の派遣になりました。		
			「団体のBさん個人として実現したいこと」と「法人として実現したいこと」が混沌としています。法人として広報やイベントなど事業に取り組んでも、この整理ができていなければ、今後、法人の活動が広まらない要因のひとつになると考えられます。先に進みながら、また整理に戻るようなファシリテーションを考えて行きたいと思います。		
			前回の振り返りから団体のBさん個人とNPO法人のやりたいことが混在しており整理をする必要があると思いました。人材のAさんの本質をついた質問が効果的でした。NPOとして社会課題をどのように解決するのか、理事たちと意識あわせを希望しています。次回に期待したいと思います。		